

## I 目指す姿

中播磨地域の緑豊かな自然、播磨灘の豊富な海の幸や世界文化遺産・姫路城など恵まれた地域資源を活用し、4つの目標を定め、県民、市町、企業、団体等と連携しながら日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」を核として、「人と地域がつながる“元気”な中播磨の創生」を目指す。

### 【目標】

KPI	目標
観光入込者数	13,000 千人
観光宿泊者数	1,800 千人
観光消費額	1,300 億円
若者の転入超過数（20～29 歳）	▲550 人
（うち女性の転入超過数）	▲240 人
若者の転入超過数（30～39 歳）	140 人
（うち女性の転入超過数）	130 人
新卒高校生の管内就職割合	60%
お住まいの市・町の企業に活気が感じられると思う人の割合	40%
お住まいの市・町の駅前や商店街に活気が感じられると思う人の割合	35%
地元や県内の農林水産業に活気が感じられると思う人の割合	28%
住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合	85%
地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う人の割合	50%

## II 取組の方向性

### 1 思わず訪れたいくなる中はりま

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の歴史的魅力を国内外に発信するとともに、東京オリンピック・仏パリオリンピック等国際イベントの開催を機に滞在型・周遊型観光を推進し交流人口を拡大する。

### 2 若者・女性が活躍できる中はりま

若者の地元就職や女性の活躍を促進するとともに、高校生・大学生等の意見を活かすなど、若者の県施策等への参画を推進する。

### 3 活気とにぎわいのある中はりま

姫路市文化コンベンションセンターの開館（令和3年度予定）や福崎駅前整備等を機に中播磨地域の賑わいづくりを一層推進するとともに、産学官連携による“ものづくり”企業の競争力向上、社会インフラの充実、農林水産業の活性化を図る。

### 4 暮らしやすさ No.1 の中はりま

県立はりま姫路総合医療センター（仮称）（令和4年開院予定）を中心とした質の高い効果的な医療の提供や災害に強い社会基盤を整備する等、安全安心のまちづくりや、ふるさと意識や地域への愛着の醸成を推進する。

### Ⅲ 具体的な取組（主なもの）

#### 1 思わず訪れたいくなる中はりま

##### （１）日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」推進プロジェクト

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」ゆかりのシスレーなどフランスとのストーリーを活かし、欧州からの交流人口増加を目指すとともに、周辺の魅力を含めた地域のブランド化に取り組む。

- ① つなぐ銀の馬車道～轍プロジェクト～
- ② 銀の馬車道ブランドの推進
- ③ 「銀の馬車道・鉱石の道」の見える化と魅力発信
- ④ サイクルモデルルート「銀の馬車道・鉱石の道周遊ルート」の整備

##### （２）訪れて巡りたいくなる中はりま

世界文化遺産・姫路城の知名度を活用し、中播磨の豊かな観光資源への周遊と体験ツーリズムの活性化を図る。

- ① 思わず行きたくなる中はりま誘客促進
- ② 播但線沿線等の魅力アップ
- ③ 中はりま「気軽に農泊」モデル事業

##### （３）豊かな資源を活かした食の魅力発信

豊かな自然や食文化など様々な地域資源を活かし、地域特産物のブランド化、魅力と活力のある地域づくりに取り組み、国内外にその魅力を発信することにより交流人口の拡大を図る。

- ① 食と農で結ぶ夢街道づくり
- ② はりま姫路の前どれ海の幸グレードアップ作戦
- ③ 中はりま食文化の発信
- ④ 水産資源を守り育てる増殖場の整備

#### 2 若者・女性が活躍できる中はりま

##### （１）若者・女性の就業・地域活動支援

中播磨地域では、20歳代は転出超過となるものの、30歳代では転入超過となる傾向がみられることから、進学・就職を機に域外へ転出した若者・女性をメインターゲットに、産官学が連携し、就業支援や地域活動の支援を行う。

- ① 中はりまの企業PR大作戦（UJIターン対策）
- ② 産学官連携による「中はりま産業力」強化
- ③ 中はりま木造インターンシップによる技術伝承支援事業
- ④ 女性の活躍促進
- ⑤ 生活創造活動支援

##### （２）高校生・大学生等の参画

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」沿線の高校生による地域を巻き込んだ新たなプロジェクトの提案など、高校生・大学生等の県施策等への参画を促進する。

- ① 日本遺産高校生フォーラム
- ② 地域政策を検討する会議等への高校生・大学生等の参画
- ③ 小学生への社会基盤整備PR事業

### 3 活気とにぎわいのある中はりま

#### (1) 姫路駅周辺の“顔づくり”の推進

姫路市文化コンベンションセンターが令和3年秋の供用、県立はりま姫路総合医療センター（仮称）が令和4年度の開院を目指して整備が進められていることから、引き続き「姫路市都心部まちづくり構想（H18.3策定）」の推進に協力し、播磨地域の中心である姫路駅周辺整備を図るとともに、駅周辺の施設整備に合わせた道路等の整備を推進する。

- ① 駅周辺の整備推進
- ② 駅周辺道路等の整備推進

#### (2) 姫路港の賑わいづくりと利活用

開港60周年を機に入港したクルーズ客船を今後も姫路港に迎え、新たな賑わいを創出するため、クルーズ客船の誘致活動をさらに強化する。また、旅客ターミナルエリアのリニューアル等の推進により、県民の交流や賑わい空間を創出することで地域の活性化を図る。

- ① 観光クルーズ客船の誘致強化
- ② 背後圏企業へのポートセールス活動の展開
- ③ 姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル
- ④ 姫路港・海の魅力発信

#### (3) 中播磨地域の元気、活力を支える道路網の整備

中播磨地域の元気、活力を支えるため、高速道路から生活道路にいたる道路網について、利活用の増進や中心市街地の形成などに重点を置きつつ、選択と集中により、効率的・効果的な整備を進める。

- ① 播磨臨海地域道路
- ② 播磨の中心市街地（姫路市）の骨格道路網形成

#### (4) はりまのものづくりを強化するための支援

中播磨地域に集積する産学官に係る資源の効果的な連携を図り、大学、企業との技術交流の促進により、地域のものづくり力の一層の強化を図る。また、ものづくりを支える人材を確保するため、企業の情報を広く発信するとともに、企業と学生のマッチングを図る機会を充実させる。

- ① ものづくりを支える人材確保支援
- ② 中はりまの企業PR大作戦（UJIターン対策）（再掲）
- ③ 産学官連携による「中はりま産業力」強化（再掲）

#### (5) 農林水産業の生産振興

過疎・高齢化や耕作放棄地の拡大が懸念される中播磨北部地域における新規就農者サポート、収入安定化のための事業を展開するとともに、農地の面的集積とほ場の大区画化を一体的に進めるほ場整備を推進し、農業水利施設の機能が適正かつ持続的に発揮されるよう点検整備や補修に取り組むほか、防災対策として老朽化したため池等を改修する。

- ① 中はりま がんばる「農」地域サポート事業
- ② 中はりま農業パワーアップ作戦
- ③ 人とシカが共生できる地域創出事業
- ④ 農業生産基盤の整備
- ⑤ 持続可能な森林経営に向けた森づくり

#### 4 暮らしやすさNo.1の中はりま

##### (1) ふるさと意識、地域への愛着の醸成

地域文化や郷土史等を次代に伝える事業を実施・支援するなど、子どもや若者のふるさと意識や地域への愛着の醸成に取り組むとともに、独身男女の出会いを支援する。

- ① 中播磨地域ビジョンの推進
- ② 中播磨地域づくり活動応援事業
- ③ 伝統文化を通じた青少年の文化力アップ
- ④ 環境学習の推進
- ⑤ 青少年の健全育成活動の推進
- ⑥ 中はりま縁結び交流会

##### (2) まちの安全・安心の推進

自然災害から安全・安心を確保するため、治水・高潮・土砂対策等にかかる基盤整備を推進するとともに、地域防災力の向上を図る。

- ① 災害に強い社会基盤整備の推進
- ② 中はりま地域防災力の充実・強化
- ③ ため池保全の推進

##### (3) 暮らしの安全・安心の推進

災害時の医療情報や消費生活など幼児・高齢者等も含めた、暮らすひとの安全・安心を確保する地域づくりを目指す。

- ① 小児救急医療・適切な受診行動の促進
- ② 地域包括ケアシステムの推進支援
- ③ 地域を支える看護人材の確保
- ④ 授産品の販路拡大支援
- ⑤ 高齢者の低栄養・フレイル対策事業
- ⑥ 災害時における医療提供に関する情報伝達訓練・研修事業
- ⑦ 安全安心な消費生活の推進
- ⑧ 地域ぐるみの安全対策事業
- ⑨ 野生動物の被害対策の推進